



「はやぶさのその後、イトカワの石から見えたモノ」

第9回『北大・九大 合同フロンティア・セミナー』の開催について

概要

平成23年10月20日(木) 18時30分から東京ステーションコンファレンスにおいて第9回『北大・九大 合同フロンティア・セミナー』を開催します。

本セミナーは、現在、本学及び北海道大学がどのような研究を進めているのか等について広く産業界、社会人、両大学の同窓生の皆様に知っていただき、各分野の方々との連携・交流を一層深めることを目的としているものです。開催日時、場所等は以下のとおりです。

日時：10月20日(木) 18:30～20:45

場所：東京ステーションコンファレンス (JR東京駅、東京メトロ東西線大手町駅)
東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー5階

テーマ：「はやぶさのその後、イトカワの石から見えたモノ」

■背景

九州大学は、その活動状況を社会へ発信する手段として、北海道大学との合同による活動報告会とフロンティア・セミナーを東京で開催しています。

今回、第9回『北大・九大 合同フロンティア・セミナー』を「はやぶさのその後、イトカワの石から見えたモノ」をテーマに次の内容で開催します。

■内容

【講演】

坂本 尚義 (北海道大学 大学院理学研究院 教授)

【演題：惑星探査機「はやぶさ」によりわかりつつある新しい太陽系像】

2010年6月12日、小惑星探査機「はやぶさ」は、7年間往復60億kmにおよぶ小惑星「イトカワ」への旅を終え、無事、サンプル回収容器を地球に届けました。サンプル回収容器内部は、一見、打上前の状態と変わらない様に見えましたが、その後の観察により、多数の微粒子が入っている事が確認されました。この微粒子の初期分析が2011年1月22日に開始され、その途中成果がサイエンス誌8月26日号に発表されました。今回は、その結果について解説し、進展しつつある太陽系の起源研究について紹介します。

奈良岡 浩 (九州大学 大学院理学研究院 教授)

【演題：はやぶさ計画と太陽系・宇宙の有機物】

小惑星イトカワからはやぶさによって採取された微粒子は無機岩石質のものでした。次期に計画されているはやぶさ2やNASAのOSIRIS-Rexでは有機物や水を含む小惑星を目指しています。太陽系の始原天体に含まれる有機物がどのような起源を持ち、地球生命と関わりを持っているかは興味を持たれます。太陽系や宇宙における生命の普遍性とポストはやぶさ計画の意義について紹介します。

【パネルディスカッション】

テーマ：「はやぶさのその後，イトカワの石から見たモノ」

コーディネーター：田中秀和（北海道大学 低温科学研究所 准教授）

パネリスト：塚本 尚義（北海道大学 大学院理学研究院 教授）

奈良岡 浩（九州大学 大学院理学研究院 教授）

〈参加費用〉

1, 000円：ドリンク（ビール等）及び軽食付き

■効果

合同フロンティア・セミナーにおいて、南北の知の拠点である九州大学と北海道大学における先駆的な取り組みと活動状況を広く社会に向け積極的かつ継続的に発信します。このことにより、産業界、社会人、両大学の同窓生の皆様方との連携・交流が一層深まることが期待されます。

また、両大学が交流を深め、互いに切磋琢磨しながら連携協力を行うことにより、今後の両大学の更なる発展・飛躍につながっていくことが期待されます。

■今後の展開

本セミナー開催後も、九州大学と北海道大学の合同により以下のイベントを企画しており、両大学からの継続的な情報発信の機会を設けています。

第7回『北海道大学・九州大学合同活動報告会』

日 時：平成23年12月6日（火）

場 所：都市センターホテル

東京都千代田区平河町2-4-1

【お問い合わせ】

九州大学 学術研究推進部 学術研究推進課 水野 和彦

電話：092-642-7265

FAX：092-642-7090

Mail：kisgodo@jimu.kyushu-u.ac.jp

北海道大学 研究推進部 研究企画・推進課 高橋 寛子

電話：011-706-2155

FAX：011-706-4873

Mail：suishin@general.hokudai.ac.jp